



# 第6期報告書

平成20年4月1日▶平成21年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 吉岡 正紀

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第6期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度のわが国の経済においては、世界的な景気後退の影響を受けて消費が低迷し、設備投資が抑制されるなど、実体経済が急速に悪化してまいりました。

当企業グループの主力市場である情報通信ネットワーク関連市場においては、光ネットワークの普及に対応した新しい取組みが進んでおります。

当企業グループは、このような事業環境の急激な変化に対応し「独創的な技術力・開発力を駆使できる革新的企業」を目指し、「事業の拡大」と「経営体質の強化」の諸施策に継続して取り組んでまいりました。

「事業の拡大」につきましては、ネットワークソリューション分野およびセキュリティソリューション分野の主力市場において事業の選択と集中を進める中で、次世代ネットワークなどに対応した両分野の融合商品を早期に開発、販売するための取組みを推進してまいりました。その一環として、当企業

グループの商品とサービスへの理解をより一層深めていただくため、展示説明会を主要都市において開催したほか、さまざまなソリューションの提案を積極的に行ってまいりました。

また、「経営体質の強化」につきましては、今後の、融合商品の開発、販売に合わせた組織の整備と人材の育成に取り組んでまいりました。

これらを実現するため、平成20年7月1日付で、グループ内各社に配置していた販売組織を再編成し、販売力を強化してまいりました。さらに、平成21年1月1日付でサクサ株式会社内に「グローバルビジネス推進部」を新設し、サクサグループにおける横断的なグローバル事業戦略の企画、推進体制の構築などを進めてまいりました。

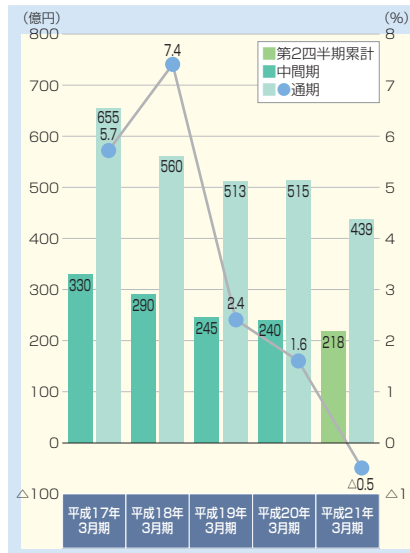
当事業年度の売上高は、新商品の投入など事業の拡大に努めましたが、経済環境の悪化による投資の抑制などにより439億2千3百万円(前期比 14.8%減)と減少いたしました。利益面では、総原価の低減に努めたものの、売上高の減少に伴う利益の減少により経常損失は2億9百万円(前期経常利益 8億6百万円)、また、投資有価証券評価損の計上などにより当期純損失は13億5千8百万円(前期純利益 5億5百万円)となりました。

なお、当期の配当金につきましては、急激な市場環境の悪化による売上高の減少や株価の下落などがあり、当期純損失となったこと、また、引き続き景気の先行きが不透明であることから、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

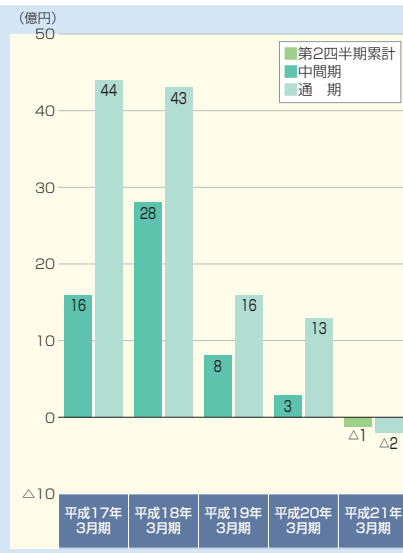
当社といたしましては、今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりまいる所存でございますので、株主の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績ハイライト

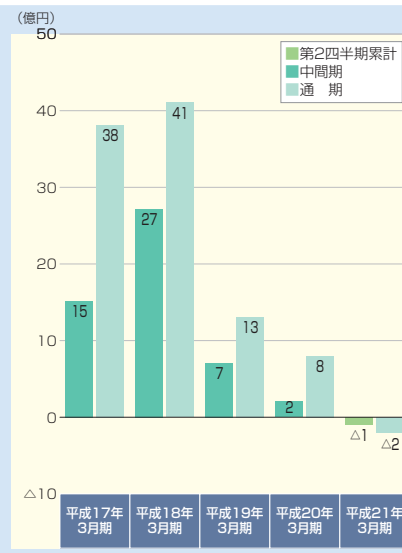
売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



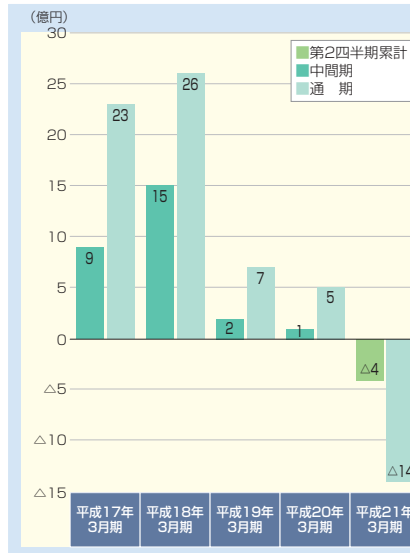
営業利益



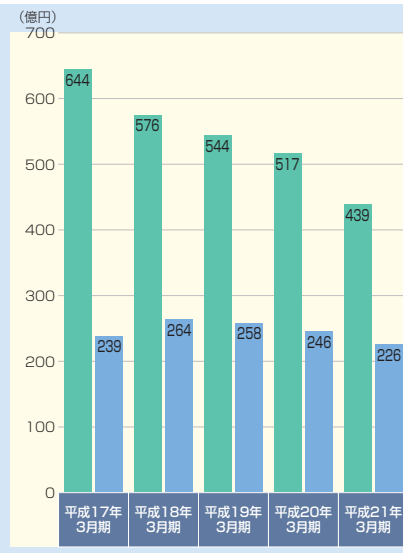
経常利益



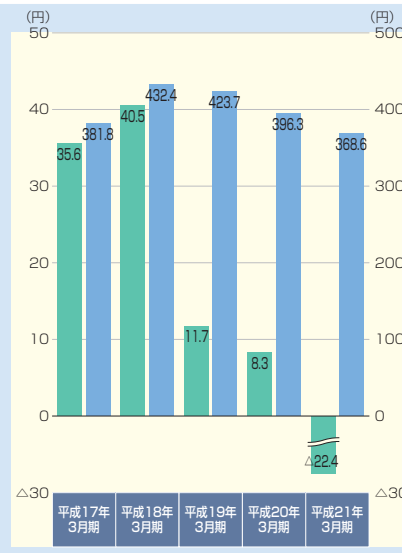
当期純利益



総資産 純資産



1株当たり当期純利益(左目盛) 1株当たり純資産(右目盛)



※1 グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

※2 平成21年3月期から金融商品取引法における四半期報告制度の導入により、第2四半期の売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益については第2四半期連結累計期間の数値を掲載しております。

## キーテレホン連動型オフィスセーフティ送信機「BS700」を新発売！

サクサ株式会社は、キーテレホン連動型オフィスセーフティ送信機「BS700」を開発し、平成20年12月から発売を開始いたしました。

「BS700」は、多様化するセキュリティのニーズに対応するため、異常発生時の携帯電話などへの緊急通報やメール通報機能はもちろん、キーテレホン「Agrea HM700」との連動を可能とし、効率的なオフィスセーフティシステムを構築することができます。

「BS700」に接続したセンサと「Agrea HM700」の人感センサ標準装備の多機能電話機を共有して運用することにより、高度で広範囲なオフィスセーフティを可能にします。



BS700

## 携帯電話の位置情報を利用した警備員行動支援ASPサービス「モビルカG」を新発売！

サクサ株式会社は、株式会社OKIネットワークス(平成21年4月に沖電気ネットワークインテグレーション株式会社に事業移管)と販売協業し、警備会社向けASPサービス「モビルカG」の発売を平成21年2月から開始しました。

「モビルカG」は、携帯電話のブラウザとGPS機能を利用して時間と場

所を報告する機能や管理者向けの予定実績管理およびアラーム通知機能を兼ね備えたASPサービスです。警備会社の管理者は、数百人の警備員の状態を効率的に管理することが可能となり、電話対応、履歴管理、安否確認などの管理業務を大幅に効率化できます。

## 双方向ビジュアルコミュニケーションソリューションに参入！

サクサ株式会社は、今後NGNに代表される大容量、高速ネットワークの普及により重要となる音声、データ、映像という映像ソリューションへの取組みとして、“双方向”の映像ソリューションを具体化するため、多地点接続技術や映像コーデック技術を保有するイスラエルのRadvision社と販売や技術開発で提携いたしました。

その中の取組みのひとつとして、多地点異機種間接続が可能な装置「SCOPIA」を販売してまいります。「SCOPIA」は、拠点間で異なるメーカーのTV会議システムを使用している場合でも専用端末を必要とせず、パソコンや携帯電話など多様な端末を利用してテレビ会議の環境を構築することができます。



TV会議システム構成イメージ

## 「PASMO一体型身分証」対応機器の開発とシステム提供で東京急行電鉄株式会社と提携

サクサ株式会社は、東京急行電鉄株式会社と提携し、サクサがお客様との窓口となり、「PASMO一体型身分証」およびこれに対応する機器開発とシステムを提供いたします。

サクサは、これまで非接触ICカードを用いたキャンパスソリューションおよびオフィスソリューションなどに取組んでおり、キャンパスシステムは、全国の大学、専門学校など60校以上でご利用いただいております。

す。これまで培った経験と実績を活かし、今回の東京急行電鉄株式会社との提携により、さらに多くの首都圏の大学や企業などに学内、社内の出席管理、入退室管理、PCログイン、コピー・プリンタ管理など、さまざまなシステムを「PASMO一体型身分証」と連携させ、お客様の利便性を高め、キャンパスソリューションおよびオフィスソリューション分野の拡大を積極的に推進してまいります。

## サクサグループのコンポーネント事業会社として事業領域の拡大を推進 ～サクサプレジジョン株式会社～

当社の連結子会社であるコビシ電機株式会社とユニオン電機株式会社は、平成21年4月1日付で合併し、サクサプレジジョン株式会社として新しくスタートしました。火災報知機関連機器ならびに電源関連機器等の開発、製造および販売を主力事業とするコビシ電機株式会社と自動車関連部品、計数器ならびに医療関連部品等の開発、製造および販売を主力事業とするユニオン電機株式会社の開発、製造および販売の機能を一体化させ、経営基盤の強化、経営効率の向上を図るとともに、サクサグループのコンポーネント事業会社として既存市場の深耕と隣接する市場への事業領域拡大を推進してまいります。

■ 商 号	サクサプレジジョン株式会社
■ 代 表 者	代表取締役社長 石川良信
■ 事 業 内 容	防犯・防災機器、変圧器、アミューズメント関連機器、自動車用関連部品、計数器(各種カウンタ)、医療機器関連部品の設計、製造および販売
■ 本店所在地	埼玉県鴻巣市上谷1805番地1
■ 米沢事業所	山形県米沢市中田町1713番地
■ 資 本 金	1億円

## 「サクサコレクション」開催！

サクサ商品の販売店等お取引先の皆様に、サクサグループの商品とサービスへの理解をより一層深めていただくため、昨年12月から今年1月にかけて展示説明会「サクサコレクション」を全国主要都市5か所において開催しました。

サクサグループの目指す事業の方向性についての講演のほか、サクサグループが販売する各種製品およびサービスを6つのシーン(オフィスソリューション、キャンパスソリューション、ライフソリューション、ショッピングモールソリューション、コンポーネントソリューション、NGN)ごとに分けて展示しました。

各地の会場には、それぞれ多くのお客様にご来場いただき、展示されたサクサグループの製品を前に、真剣な表情で説明に聞き入る方、熱心に質問される方など、どの会場も盛況の内に開催することができました。今回のサクサコレクションで、お取引先の皆様にサクサグループへのご理解をより一層深めていただくとともに、さまざまなソリューションの提案を積極的に行ってまいりました。



事業の方向性についての講演

# 連結財務諸表(要約)

## ●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成20年3月期)	当期末 (平成21年3月期)
(資産の部)		
流動資産	28,743	22,685
固定資産	22,886	21,159
有形固定資産	12,934	12,546
無形固定資産	5,842	5,524
投資その他の資産	4,108	3,088
繰延資産	41	30
資産合計	51,670	43,875
(負債の部)		
流動負債	16,996	13,461
固定負債	10,112	7,788
負債合計	27,108	21,250
(純資産の部)		
株主資本	24,355	22,690
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	8,272	6,610
自己株式	△1,085	△1,088
評価・換算差額等	△278	△302
少数株主持分	485	237
純資産合計	24,562	22,625
負債純資産合計	51,670	43,875

## ●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成20年3月期)	当期 (平成21年3月期)
売上高	51,536	43,923
売上原価	38,155	32,140
売上総利益	13,380	11,782
販売費及び一般管理費	12,115	11,943
営業利益(△損失)	1,265	△161
営業外収益	680	498
営業外費用	1,139	546
経常利益(△損失)	806	△209
特別利益	696	7
特別損失	533	1,117
税金等調整前当期純利益(△損失)	969	△1,318
法人税、住民税及び事業税	261	48
法人税等調整額	235	△20
少数株主利益(△損失)	△33	11
当期純利益(△損失)	505	△1,358

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成20年3月期)	当期 (平成21年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,697	6,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,438	△2,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,389	△3,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△2,131	259
現金及び現金同等物の期首残高	6,988	4,856
現金及び現金同等物の期末残高	4,856	5,116

## ●連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

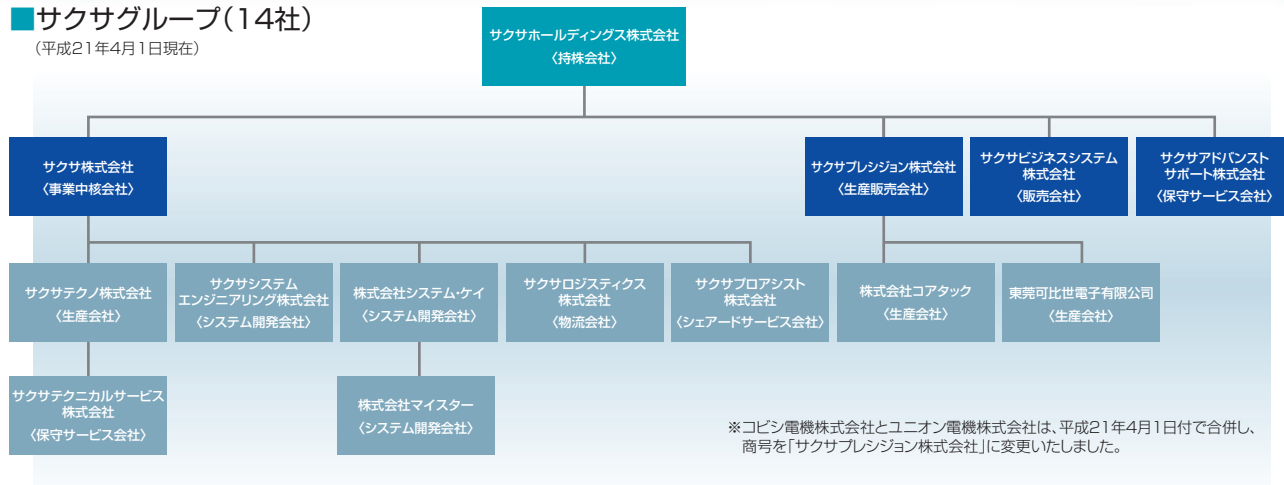
(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	10,836	6,331	8,272	△1,085	24,355	△301	22	△278	485	24,562
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△303		△303					△303
当期純損失(△)			△1,358		△1,358					△1,358
自己株式の取得				△3	△3					△3
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△8	△15	△23	△248	△271
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△1,661	△3	△1,665	△8	△15	△23	△248	△1,936
平成21年3月31日残高	10,836	6,331	6,610	△1,088	22,690	△310	7	△302	237	22,625

※P5に記載の数値については百万円未満を切り捨てております。

## ■ サクサグループ (14社)

(平成21年4月1日現在)



## ■ サクサ ホールディングス株式会社

設立年月日 平成16年2月2日  
 資本金 10,836,678,400円  
 従業員数 1,529名(連結)  
 22名(単独)  
 本 社 東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー  
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

### ● 取締役および監査役

代表取締役社長	吉岡正紀	取 締 役	村田直光
代表取締役副社長	越川雅生	取 締 役	福村圭一
常 務 取 締 役	村 上 新	取 締 役	中西清司
常 務 取 締 役	松山修二	常 勤 監 査 役	福島正之
常 務 取 締 役	鈴木 讓	監 査 役	藤牧正夫
常 務 取 締 役	大内正樹	監 査 役	河野 敬
取 締 役	足立俊夫	監 査 役	猪鼻正彦

※1. 福村圭一および中西清司の2氏は、社外取締役であります。

※2. 河野敬および猪鼻正彦の2氏は、社外監査役であります。

## ■ サクサ株式会社

設立年月日 平成16年4月1日  
 資本金 10,700,000,000円  
 従業員数 662名  
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売ならびにこれに付帯するサービスの提供

### ● 取締役および監査役

代表取締役会長	吉岡正紀	取 締 役	足立俊夫
代表取締役社長	越川雅生	取 締 役	村田直光
取 締 役	村 上 新	取 締 役	山田敏夫
取 締 役	松山修二	常 勤 監 査 役	藤牧正夫
取 締 役	鈴木 讓	監 査 役	福島正之
取 締 役	大内正樹	監 査 役	河野 敬

※河野敬氏は、社外監査役であります。

### ● 執行役員

会長執行役員	吉岡正紀	常務執行役員	小川利行
社長執行役員	越川雅生	常務執行役員	皆川忠志
常務執行役員	村 上 新	執行役員	竹松睦男
常務執行役員	松山修二	執行役員	羽鳥勝彦
常務執行役員	鈴木 讓	執行役員	島田俊治
常務執行役員	大内正樹	執行役員	伊藤訓明
常務執行役員	足立俊夫	執行役員	石田 潤
常務執行役員	村田直光	執行役員	大坂 貢
常務執行役員	山田敏夫	執行役員	須貝講平



## 株式の状況

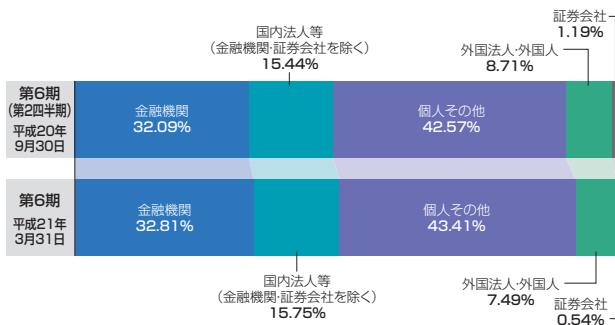
- 発行可能株式総数…………… 240,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 62,449,621株
- 株主数…………… 8,536名

## 大株主

株主名	持株数
沖電気工業株式会社	6,060千株
日本電気株式会社	6,060千株
株式会社みずほ銀行	2,339千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,120千株
株式会社三井住友銀行	1,767千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	967千株
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル キャップ パリュウ ポートフォリオ	919千株
みずほ信託銀行株式会社	900千株
三井住友海上火災保険株式会社	773千株

- ※1. 当社は、自己株式1,716,089株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 沖電気工業株式会社の株式数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059,800株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託」であります。)
- ※3. 株式会社みずほ銀行の株式数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778,000株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託」であります。)

## 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ 公告して定める日とします。

**公告掲載URL** <http://www.saxa.co.jp/>  
 ※当社の公告の方法は、電子公告としております。  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって、  
 電子公告による公告をすることができない場合は、  
 日本経済新聞に掲載いたします。

**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

**(郵便物送付先)** 〒168-8507  
東京都杉並区泉和二丁目8番4号

**(電話照会先)** (フリーダイヤル)0120-288-324

**(専用ホームページ)** <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

**特別口座管理機関** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

**同 取 次 所** 特別口座管理機関取次所  
みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店ならびにプラネット  
ブース

## 株式に関する各種お手続き、お届出およびご照会について

株式に関するお手続き(単元未満株式の買取請求、届出住所・姓名等の変更等)のご照会および届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、次のいずれかの窓口にご連絡ください。

### 【証券会社で口座を開設されている株主様】

……当該証券会社にご連絡ください。

### 【証券会社で口座を開設されていない株主様】

……みずほ信託銀行株式会社にご連絡ください。

